

北海道文教大学学則

(平成10年12月22日則 第21号)

第1章 総則

(目的)

第1条 北海道文教大学(以下「本学」という。)は、教育基本法及び建学の精神に則り、豊かな人間性を涵養するため幅広い知識を授けるとともに、理論と実践にわたり深く学術の教育と研究を行い、国際社会の一員として、世界の平和と人類の進歩に貢献し得る人材の育成を目的とする。

(自己点検・評価等)

第2条 本学における教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動及び管理運営等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 前項の実施に必要な組織及び具体的方法等については、別に定める。

(学部・学科及び収容定員)

第3条 本学に次の学部を置く。

外国語学部

人間科学部

2 前項の学部には置く学科及びその収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
外国語学部	国際言語学科	100名	400名
人間科学部	健康栄養学科	150名	600名
	理学療法学科	80名	320名
	作業療法学科	40名	160名
	看護学科	80名	320名
	こども発達学科	80名	320名

(学部・学科の教育目的等)

第3条の2 学部又は学科ごとの人材の養成及び教育研究上の目的については、次のとおりとする。

- 2 外国語学部は、実践的な外国語教育を基本として、海外の国々や文化に対する高度な理解を養い、変遷著しい今日の国際化・情報化にふさわしい知性の探求・創造に努めるとともに、国際ビジネスに関する専門的な知識と技術を学び、国際社会の中で主体的に行動できる人材を養成する。
- (1) 国際言語学科は、「ことば」によるコミュニケーションが、人と人との関係を築きあげる重要な道具であることを踏まえ、同時に人間が社会の中で行動してこそ輝く存在であることを重視し、「ことば」を生かし、その能力を発揮する場を、人と社会、人と人との関係の中で捉え追求している。このような捉え方を確立することにより、「ことば」を通して、学生の資質を高め、日本国内にとどまることなく、国際社会の様々な分野において、個々の能力を発揮し、輝くことができる人材を育成する。
- 3 人間科学部は、保健・医療・福祉・教育・保育分野への社会的要請に対応し、人々の健康と幸福を支援するために、人間の本質、人格の発達、成長と老化、社会における人間のあり方など、現代社会を理解するための知識と方法論とを修得するとともに、高度な問題解決能力を培い、専門知識と技術を身につけ実社会に貢献する人材を養成する。
- (1) 健康栄養学科は、現代社会に生きる人々の健康の維持と向上のために、フードサービスマネジメントや栄養ケアマネジメントの力を備えた栄養士と共に、ヘルスプロモーション、食品危機管理、国際的な栄養教育等に関する体系的知識を修得させ、豊かな人間性を養う「も

てなしの心」を基盤とし、高度な専門知識と問題解決能力及び実践力を備えた管理栄養士を養成する。

- (2) 理学療法学科は、小児から高齢者まで各種疾患・障害の予防・治療に関する高度の専門的知識・技術を修得し、医療・福祉施設及び地域医療においてリハビリテーションチームの一員として活躍できる能力を養うとともに、科学的根拠に基づいた理学療法を自ら実践でき、国際的視野を有する理学療法士を養成する。
- (3) 作業療法学科は、人間性豊かで適切な倫理観を持ち、高度な専門的知識と技術を修得するとともに、地域における作業療法の総合的な理解、コミュニケーション能力、国際性及び科学的・論理的思考法を身につけ、臨床的実践家として活躍できる作業療法士を養成する。
- (4) 看護学科は、医療の高度化や看護ニーズの多様化等に対応していくため、看護を取り巻く幅広い知識体系から看護職者に求められる豊かな人間性と倫理観及び高度な知識・技術を修得する。更に、専門職としての自発的な能力開発を継続するための能力や看護の向上に資する研究能力の基礎を育成し、地域、国際社会に貢献する実践力のある看護師を養成する。
- (5) こども発達学科は、こどもとこどもの周辺に生じている様々な変化に対応し、こどもの心と体の仕組みや発達とその支援について実践的に学ぶとともに、こどもに関わる幅広い分野における教育研究を行い、高度かつ最新の専門的知識・技術を有する保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭として活躍することができる人材を養成する。

(大学院)

第3条の3 本学に大学院を置く。大学院の学則は別に定める。

(修業年限及び在学年限)

第4条 本学の修業年限は4年とする。

- 2 学生は修業すべき年限の2倍に相当する年数を超えて在学することはできない。

第2章 学年、学期及び休業日

(学年)

第5条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- 2 前項において規定する学年の途中においても、学期の区分に従い、学生を入学及び卒業させることができる。

(学期)

第6条 学年を次の2期に分ける。

- 前期 4月1日から9月30日まで
- 後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第7条 休業日は、次の各号のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
 - (3) 学園創立記念日(6月8日)
 - (4) 夏季休業日、冬季休業日及び春季休業日は、当該年度の学年歴に定める期間
- 2 前項の規定に関わらず学長は、臨時に休業日を設け又は休業日を変更することができる。

(授業期間)

第8条 授業期間は、定期試験等の期間を含め、年間35週にわたることを原則とする。

第3章 入学、休学、留学、転学、退学、転科及び除籍

(入学時期)

第9条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特別の定めがある場合は、学期の始めにすることができる。

(入学資格)

第10条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (7) その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(入学志願手続)

第11条 本学に入学を志願する者は、本学所定の入学願書に別に定める入学検定料を添えて願出しなければならない。

2 入学志願手続の時期、方法及び提出書類等については別に定める。

(入学者の選考)

第12条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第13条 前条の選考結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書その他本学所定の書類を提出するとともに、入学料、授業料及びその他の費用を納付しなければならない。

- 2 入学手続の時期、方法及び書類等については別に定める。
- 3 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(編入学)

第14条 本学に編入学を志願する者がいるときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ相当年次に入学を許可することがある。

- 2 編入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。
 - (1) 短期大学、高等専門学校を卒業した者
 - (2) 大学入学資格を有し、文部科学大臣の定める基準を満たす専修学校の専門課程を修了した者
 - (3) その他法令で定めるところにより資格があるとされている者
- 3 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

(転入学)

第15条 本学に転入学を志願する者がいるときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ相当年次に入学を許可することがある。

2 転入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 大学を卒業した者又は退学した者
- (2) 他の大学に在学している者

3 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

(再入学)

第 16 条 正当な理由で本学を退学した者が、再入学を希望するときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ相当年次に入学を許可することがある。

2 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位の取扱い、並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

(転学部及び転科)

第 17 条 本学の学生で他の学部へ移ろうとする者又は同一学部で所属の学科を変更しようとする者については、選考のうえ、教授会の議を経て、学長が転部転科を許可することがある。

2 前項の規定により転部転科を許可された者の既に履修した授業科目及び単位の取扱いについては、教授会の議を経て学長が決定する。

3 転部転科に関する事項は別に定める。

(休学及び復学)

第 18 条 疾病その他特別の理由により、引き続き 3 ヶ月以上修学困難な者は、事由書を添えて学長に願い出ることができる。

2 疾病のため修学することが適当でない認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

3 休学期間は、1 年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1 年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

4 休学期間は、通算して 4 年を超えることができない。

5 休学期間は、第 4 条の在学年限には算入しない。

6 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

7 休学及び復学の許可は、教授会の議を経て学長が行う。

(転学)

第 19 条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第 20 条 外国の大学又は短期大学で学修することを志望する者は、学長の許可を受けて留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第 4 条に定める修業年限に含めることができる。

3 第 25 条の規定は、外国の大学又は短期大学へ留学する場合に準用する。

(退学)

第 21 条 退学しようとする者は、事由書を添えて学長に願い出、許可を受けなければならない。

(除籍)

第 22 条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。

- (1) 学費の納入を怠り、督促してもなお納入しない者
- (2) 第 4 条第 2 項に定める在学年限を超えた者

- (3) 第 18 条第 4 項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- (4) 長期間にわたり行方不明の者

第 4 章 教育課程及び履修方法等

(授業科目の区分)

第 23 条 外国語学部において開設する授業科目を分けて、教養科目、専門科目とし別表 1 のとおりとする。

2 人間科学部において開設する授業科目を分けて、教養科目、専門基礎科目、専門科目とし、別表 2 のとおりとする。

3 前各項に掲げる授業科目のほか、教育職員免許法(昭和 24 年法律第 147 号)に定める教員の免許状及び博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)に定める学芸員の資格を得ようとする者のために、別表 3 並びに別表 4 の専門科目を開設する。

(履修の方法)

第 24 条 前条に規定する授業科目は、必修及び選択科目とし、履修方法について必要な事項は別に定める。

(単位の計算方法)

第 25 条 各授業科目に対する単位の計算方法は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、毎週 1 時間から 2 時間 1 5 週の授業をもって 1 単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技の授業については、毎週 2 時間から 3 時間 1 5 週の実験実習または実技をもって 1 単位とする。

(単位の授与)

第 26 条 授業科目を履修し、成績の評価が合格に達した者には、所定の単位を与える。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第 27 条 本学が教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、60 単位を限度として卒業要件単位として認めることができる。

(大学以外の教育施設等における学修)

第 28 条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第 2 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(休学期間中の外国の大学における学修)

第 28 条の 2 本学において教育上有益と認めるときは、学生が休学期間中に外国の大学において学修した成果について、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定により修得したものとみなすことのできる単位数は、第 27 条第 2 項及び前条第 2 項の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第 29 条 本学に入学を許可された者のうち、他の大学又は短期大学を卒業又は中途退学している

者については、本学が教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において修得した単位を、本学において修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、外国の大学又は短期大学を卒業又は中途退学し、本学に入学を許可された者について準用する。
- 3 本学に入学を許可された者のうち、短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修により単位等を修得している者については、本学が教育上有益と認めるときは、この単位等を本学において修得した単位とみなすことができる。
- 4 本学に入学を許可された者のうち、大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）に定める科目等履修生として修得した単位について、本学が教育上有益と認めるときは、この単位を本学において修得したものとみなすことができる。
- 5 前各項により与えることができる単位数は、編入学・転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第27条第2項、第28条第2項及び前条第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（成績の評価）

第30条 授業科目の成績は、別に定める評価基準及び成績評価に基づき、AA・A・B・C・Dの5段階評価をもって表し、AA・A・B・Cを合格とする。

第5章 外国人留学生・研究生・科目等履修生・特別聴講学生

（外国人留学生）

第31条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者については、選考のうえ外国人留学生として入学を許可することがある。

- 2 外国人留学生に関する規則は別に定める。

（研究生）

第32条 本学において特定の専門事項について研究することを志望する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ研究生として入学を許可することがある。

- 2 研究生に関する規則は別に定める。

（科目等履修生）

第33条 本学の学生以外の者で、一又は複数の授業科目の履修を希望する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ科目等履修生として入学を許可することがある。

- 2 科目等履修生に関する規則は別に定める。

（特別聴講学生）

第34条 他の大学又は短期大学との協議に基づき、当該大学又は短期大学に在学する者を、特別聴講学生として入学を許可することがある。

- 2 特別聴講学生に関する規則は別に定める。

第6章 卒業及び学位

（卒業の認定）

第35条 本学に4年（第14条及び第15条並びに第16条の規定により入学した者については、その在学すべき年数）以上在学し、所定の単位を修得した者について、学長は教授会の議を経て卒業を認定する。

（学位授与）

第36条 学長は、前条の規定により卒業を認定した者に対し、学士の学位を授与する。

2 学位の授与に関する規則は別に定める。

第7章 賞罰

(表彰)

第37条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の議を経て、学長が表彰することができる。

(懲戒)

第38条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、その軽重により、訓告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがない者
- (2) 正当な理由がなくて出席常でない者
- (3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第8章 検定料、学費及びその他諸費用

(入学検定料及び学費)

第39条 入学検定料及び学費は別表5のとおりとする。

(納付した学費等)

第40条 一旦納入した学費等は原則として、返還しない。ただし、次の各号の一に該当する場合は、一部について返還することがある。

- (1) 一定の期日までに入学辞退の申し出が許可された場合(入学料を除く。)
- (2) 後期分学費等を納期前に納入した者が、後期の授業開始前に休学又は退学が許可された場合

(学費等の納期等)

第41条 学費は指定された期限内に納付しなければならない。ただし、特別の事情があると認められる場合は、学長の許可を得て延納又は分納することができる。

- 2 授業料は、年額の2分の1ずつを2期に分けて納付することができる。
- 3 授業料及びその他の諸費用の納付に関する必要な事項は、別に定める。

(復学した場合の授業料等)

第42条 学期の中途において復学した者は、復学した月から当該期末までの授業料等を、復学した月に納入しなければならない。

(学年の途中で卒業する場合の授業料等)

第43条 学年の途中で卒業する見込みの者は、卒業する見込みの当該期末までの授業料等を納入しなければならない。

(退学、除籍及び停学の場合の授業料等)

第44条 学期の途中で退学し又は除籍された者の当該期分の授業料等は徴収する。ただし、死亡あるいは行方不明者については、未納の授業料等を免除することができる。

- 2 停学期間中の授業料等は徴収する。

(休学の場合の授業料)

第 45 条 休学を許可され又は命じられた者については、休学した月の翌月から復学した月の前月までの授業料を免除する。

第 9 章 別科

(別科の名称)

第 46 条 本学に留学生別科を置く。

2 別科に関する規程は、別に定める。

第 10 章 奨学制度

(奨学生)

第 47 条 入学後、本人の経済事情に変化が生じた学生に対しては、選考のうえ奨学金を貸与することがある。

2 奨学金に関する事項は別に定める。

第 11 章 職員組織

(職員組織)

第 48 条 本学に学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及びその他の業務に従事する職員をおく。

第 12 章 教授会

(教授会)

第 49 条 本学に教授会をおく。

2 教授会に関する規程は、別に定める。

第 13 章 附属図書館

(附属図書館)

第 50 条 本学に附属図書館をおく。

2 附属図書館の規程は、別に定める。

第 14 章 大学開放

(公開講座)

第 51 条 本学に公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関する規程は、別に定める。

(運動施設の開放)

第 52 条 体育館、グラウンド等の運動施設を教育研究に支障のない範囲において、地域に開放することができる。

(附属図書館及びその他の施設の開放)

第 53 条 生涯学習及びリカレント教育並びに青少年の学習の場として、附属図書館及びその他の施設を、教育研究に支障のない範囲において、利用を許可することができる。

第 15 章 厚生保健施設

(保健管理センター)

第 54 条 本学に保健管理センターを置き、健康衛生をつかさどる。

第 16 章 改正及び細則

(改正)

第 55 条 この学則の改正は、教授会の議により原案を作成し、理事会の議を経て行う。

(細則)

第 56 条 この学則施行に必要な細則は、教授会の議を経て学長がこれを定める。

附 則

この学則は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。
ただし、平成 11 年度入学生は、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。
ただし、平成 15 年 3 月末日に在学する学生については従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条第 2 項に規定する外国語学部の収容定員は次のとおりとする。

学部	学科	収容定員	
		平成 16 年度	平成 17 年度
外国語学部	英米語学科	410 名	400 名
	中国語学科	200 名	200 名
	日本語学科	210 名	200 名

- 3 第 39 条の規程にかかわらず、平成 16 年 3 月末日に在学する学生については次のとおりとする。

① 外国語学部

授業料 950,000 円

教育充実費 100,000 円

※ 授業料は毎年度納入する。

※ 教育充実費は 2 年次、3 年次のみ納入する。

② 人間科学部

授業料 810,000 円

教育充実費 200,000 円

実験実習費 100,000 円

※ 授業料、教育充実費及び実験実習費は毎年度納入する。

附 則

この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 23 条第 1 項に規定する外国語学部の授業科目は、平成 18 年 3 月末日に在学する学生については従前のおりとする。
- 3 第 3 条第 2 項に規定する外国語学部の収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員			
		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
外国語 学部	英米語コミュニケーション学科	350 名	300 名	250 名	200 名
	中国語コミュニケーション学科	190 名	180 名	170 名	160 名
	日本語コミュニケーション学科	200 名	200 名	200 名	200 名

附 則

- 1 この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 39 条の規定にかかわらず、平成 19 年 3 月末日に在学する外国語学部学生については次のとおりとする。

授業料 900,000 円

教育充実費 130,000 円

※ 授業料、教育充実費は毎年度納入する。

- 3 別表第 2 ア健康栄養学科にかかわらず、平成 19 年 3 月末日に在学する健康栄養学科の学生については従前のおりとする。ただし、臨地実習は次のとおりとする。

分野	科目	講演実	単位数	配当年次及び学期		備考
臨地実習	臨地実習ⅠA	実	1	4	前	
	臨地実習ⅠB	実	1	4	前	
	臨地実習ⅡA	実	1	4	前	
	臨地実習ⅡB	実	1	4	前	選択必修
	臨地実習Ⅲ	実	1	4	後	選択必修

附 則

- 1 この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 23 条第 1 項に規定する外国語学部の授業科目は、平成 20 年 3 月末日に在学する学生については従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 23 条第 1 項に規定する外国語学部の授業科目は、平成 21 年 3 月末日に在学する学生については従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 23 条第 1 項に規定する外国語学部の授業科目は、平成 22 年 3 月末日に在学する学生については従前のおりとする。
- 3 第 3 条第 2 項に規定にかかわらず平成 22 年度から平成 25 年度までの外国語学部の収容定員は

次のとおりとする。

学部	学科	収容定員			
		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
外国語学部	英米語コミュニケーション学科	150 名	100 名	50 名	0 名
	中国語コミュニケーション学科	120 名	80 名	40 名	0 名
	日本語コミュニケーション学科	150 名	100 名	50 名	0 名
	国際言語学科	100 名	200 名	300 名	400 名

附 則

- この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 23 条第 1 項及び 2 項に規定する授業科目は、平成 23 年 3 月末日に在学する学生については従前のおりとする。ただし、別表第 2 ア 健康栄養学科の平成 23 年 3 月末日に在学する学生について総合演習及び総合は次のとおりとする。

分野	科目	区分	単位数	配当年次及び学期		卒業必修	資格区分			
							管理栄養士	栄養士	食品衛生管理者及び食品衛生監視員	食品科学技術認定証
総合演習	管理栄養士活動演習 I	演	1	3	前	必修				
	管理栄養士活動演習 II	演	1	3	後	必修				
	管理栄養士演習 I	演	1	3	後	必修				
	管理栄養士演習 II	演	1	4	前	必修				
	管理栄養士演習 III	演	1	4	後	必修				
総合	卒業研究	演	4	4	前・後					

附 則

- この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 平成 24 年 3 月末日に在学する学生については従前のおりとする。

別表第1 授業科目およびその配当年次・単位数 (外国語学部)

国際言語学科

教養科目

分野	科目	区分	単位数	配当年次 及び学期		卒業 必修	備考
基礎科目	基礎ゼミⅠ	演	2	1	前	必修	
	基礎ゼミⅡ	演	2	1	後	必修	
	ことばのしくみ	講	2	2	前	必修	
	異文化間コミュニケーション論	講	2	1	後	必修	
	総合教養講座	講	2	1	前		
	情報処理Ⅰ	講	2	1	前		
	情報処理Ⅱ	講	2	1	後		
	サイバースペース入門	講	2	1	後		
	ブリッジ・イングリッシュ	講	2	1	前		
人間と文化	人間の思想	講	2	1	前		
	世界の芸術	講	2	1	後		
	心理学概論	講	2	2	前		
	教育学	講	2	2	後		
社会と制度	現代社会と法	講	2	1	前		
	現代社会と福祉	講	2	1	後		
	現代社会と経済	講	2	2	前		
	現代社会と政治	講	2	1	前		
	現代社会とキャリアプラン	講	2	2	後		
自然と科学	自然と環境	講	2	1	前		
	人間と住居	講	2	2	前		
外国語	ロシア語Ⅰ	演	1	2	前		
	ロシア語Ⅱ	演	1	2	後		
	ロシア語Ⅲ	演	1	3	前		
	ロシア語Ⅳ	演	1	3	後		
	朝鮮語Ⅰ	演	1	2	前		
	朝鮮語Ⅱ	演	1	2	後		
スポーツと健康	生涯スポーツⅠ	演	1	1	前		
	生涯スポーツⅡ	演	1	1	後		
	日本語Ⅰ	演	10	1	前		留学生科目
	日本語Ⅱ	演	10	1	後		留学生科目
	日本事情	講	2	1	後		留学生科目

専門科目

分野	科目	区分	単位数	配当年次 及び学期		卒業 必修	備考
ことば科目	コミュニケーション・イングリッシュ入門	講	2	1	後		
	総合英語演習IA(1)	演	1	1	前	必修	
	総合英語演習IA(2)	演	1	1	前	必修	
	総合英語演習IB(1)	演	1	1	前	必修	
	総合英語演習IB(2)	演	1	1	前	必修	
	総合英語演習IIA(1)	演	1	1	後	必修	
	総合英語演習IIA(2)	演	1	1	後	必修	
	総合英語演習IIB(1)	演	1	1	後	必修	
	総合英語演習IIB(2)	演	1	1	後	必修	
	CAIイングリッシュ演習I	演	1	1	前		
	CAIイングリッシュ演習II	演	1	1	後		
	初級検定英語I	講	2	1	前		
	初級検定英語II	講	2	1	後		
	英米の生活と文化	講	2	2	前		
	コミュニケーション・イングリッシュIA(1)	講	2	2	前	必修	
	コミュニケーション・イングリッシュIA(2)	講	2	2	前	必修	
	コミュニケーション・イングリッシュIB(1)	講	2	2	前	必修	
	コミュニケーション・イングリッシュIB(2)	講	2	2	前	必修	
	コミュニケーション・イングリッシュIIA(1)	講	2	2	後	必修	
	コミュニケーション・イングリッシュIIA(2)	講	2	2	後	必修	
	コミュニケーション・イングリッシュIIB(1)	講	2	2	後	必修	
	コミュニケーション・イングリッシュIIB(2)	講	2	2	後	必修	
	CAIイングリッシュ・マスタリーI	講	2	2	前	必修	
	CAIイングリッシュ・マスタリーII	講	2	2	後	必修	
	中級検定英語I	講	2	2	前		
	中級検定英語II	講	2	2	後		
	ドラマチック・コミュニケーション	講	2	2	後		
	中国語の基礎演習I(1)	演	1	1	前	必修	
	中国語の基礎演習I(2)	演	1	1	前	必修	
	中国語の発展演習I(1)	演	1	1	前	必修	
	中国語の発展演習I(2)	演	1	1	前	必修	
	中国語の基礎演習II(1)	演	1	1	後	必修	
	中国語の基礎演習II(2)	演	1	1	後	必修	
	中国語の発展演習II(1)	演	1	1	後	必修	
	中国語の発展演習II(2)	演	1	1	後	必修	
	中国へのアプローチ	講	2	1	前		
	発音チェック中国語	講	2	1	前		
	初級検定中国語	講	2	1	後		
	漢字のしくみ	講	2	1	後		
	速修中級中国語I(1)	講	2	2	前	必修	
	速修中級中国語I(2)	講	2	2	前	必修	
	中級検定中国語I	講	2	2	前	必修	
	中級検定中国語II	講	2	2	後	必修	
	速修中級中国語II(1)	講	2	2	後	必修	
	速修中級中国語II(2)	講	2	2	後	必修	
	話す中国語I	講	2	2	前	必修	
話す中国語II	講	2	2	後	必修		
聴く中国語I	講	2	2	前	必修		

分野	科目	区分	単位数	配当年次及び学期		卒業必修	備考
ことば科目	聴く中国語Ⅱ	講	2	2	後	必修	
	書く中国語Ⅰ	講	2	2	前		
	書く中国語Ⅱ	講	2	2	後		
	読む中国語Ⅰ	講	2	2	前		
	読む中国語Ⅱ	講	2	2	後		
	速修上級中国語Ⅰ(1)	講	2	3	前		
	速修上級中国語Ⅰ(2)	講	2	3	前		
	速修上級中国語Ⅱ(1)	講	2	3	後		
	速修上級中国語Ⅱ(2)	講	2	3	後		
	日本語文章表現法演習Ⅰ	演	1	1	前	必修	
	日本語文章表現法演習Ⅱ	演	1	1	後	必修	
	日本語音声表現法演習Ⅰ	演	1	1	前	必修	
	日本語音声表現法演習Ⅱ	演	1	1	後	必修	
	日本語学演習Ⅰ	演	1	1	前	必修	
	日本語学演習Ⅱ	演	1	1	後	必修	
	現代日本語文法演習	演	1	1	前	必修	
	日本語教育基礎演習	演	1	1	後	必修	
	言語による自己表現	講	2	1	前		
	非言語による自己表現	講	2	1	前		
	日本の漢字と言語生活	講	2	1	後		
	日本語と日本文化	講	2	1	後		
	現代日本語論	講	2	2	前	必修	
	日本語コミュニケーション技法	講	2	2	前	必修	
	現代日本語のフィールドワーク	講	2	2	前	必修	
	日本語教授法Ⅰ	講	2	2	前	必修	
	日本語教授法Ⅱ	講	2	2	後		
	世界の言語と日本語	講	2	2	後	必修	
	日本の文学作品を読む	講	2	2	後	必修	
	ことばと心	講	2	2	後	必修	
	ことばと社会	講	2	2	後	必修	
	ベーシックプレゼンテーション	講	2	2	前	必修	
	アクティブプレゼンテーション	講	2	2	後	必修	
	日本近現代文学史	講	2	2	前		
	古典文法が拓く世界	講	2	2	前		
	音韻から見える日本語の諸相	講	2	2	後		
	資格・検定Ⅰ	講	2	1	4		
	資格・検定Ⅱ	講	2	1	4		
	資格・検定Ⅲ	講	2	1	4		
	資格・検定Ⅳ	講	2	1	4		

分野	科目	区分	単位数	配当年次及び学期		卒業必修	備考
行動科目	翻訳英語	講	2	4	後		
	通訳英語	講	2	4	前		
	上級検定英語	講	2	3	前		
	英語意味論	講	2	3	前		
	英語統語論	講	2	3	後		
	日英対照言語学	講	2	3	前		
	英語教授法Ⅰ	講	2	2	後		
	英語教授法Ⅱ	講	2	3	前		
	早期外国語教育論	講	2	3	前		
	翻訳中国語	講	2	3	前		
	通訳中国語	講	2	3	後		
	上級検定中国語	講	2	3	前		
	中国語教授法Ⅰ	講	2	2	前		
	中国語教授法Ⅱ	講	2	2	後		
	日中対照言語学	講	2	4	後		
	クリエイティブライティング	講	2	3	前		
	アカデミックライティング技法	講	2	3	後		
	言語行動学	講	2	3	後		
	音声学への招待	講	2	3	後		
	日本語教育実践Ⅰ	講	2	3	前		
	日本語教育実践Ⅱ	講	2	3	後		
	コピーライティング	講	2	3	前		
	日本語の構造	講	2	3	後		
	日本語手話法	講	2	4	前		
	日米文化比較	講	2	4	前		
	現代英語圏のすがた	講	2	3	後		
	英語の小説	講	2	3	前		
	英語の詩	講	2	3	後		
	英語の演劇	講	2	3	後		
	英米の思想	講	2	4	後		
	日中文化比較	講	2	4	前		
	中華圏の文学と芸術	講	2	4	前		
	中華圏の社会と文化	講	2	4	後		
	近現代文献で読む日本文化	講	2	3	後		
	漢文を楽しむ	講	2	3	前		
	日本古典文学史	講	2	3	前		
	書道・書道史Ⅰ	講	2	3	前		
	書道・書道史Ⅱ	講	2	3	後		
	日本の信仰と生活	講	2	3	前		
	欧米地域文化論	講	2	3	前		
	環太平洋地域文化論	講	2	4	前		
	公衆衛生学	講	2	3	前		
	生命倫理	講	2	3	前		
救急医学	講	2	3	後			
保健・医療概論	講	1	3	前			
医療と福祉	演	1	3	後			
統計の基礎	講	2	3	前			
統計と社会調査法	講	2	3	後			
チーム医療概論	講	1	3	後			

分野	科目	区分	単位数	配当年次及び学期		卒業必修	備考
行動科目	医療安全とリスクマネジメント	講	1	3	後		
	社会保障・福祉論	演	1	3	後		
	国際保健学	講	1	3	後		
	メディカル・イングリッシュ	講	2	3	前		
	ビジネス・イングリッシュ	講	2	3	前		
	英語の広告・マーケティング	講	2	4	後		
	観光英語	講	2	3	前		
	ビジネス中国語	講	2	3	前		
	情報処理中国語	講	2	3	後		
	観光ガイド中国語	講	2	4	前		
	マスメディア論	講	2	3	後		
	オフィスライティング	講	2	3	前		
	日本語実践運用法	講	2	4	前		
	ビジネス作法	講	2	3	前		
	ビジネスインターンシップ	講	2	3	後		
	観光産業インターンシップ	講	2	3	後		
	北海道の観光	講	2	3	後		
	経営学入門	講	2	3	前		
	ビジネス経済学	講	2	3	後		
	貿易と実務	講	2	3	後		
	マーケティング論	講	2	3	後		
	国際経済学	講	2	3	後		
	国際比較ビジネス論	講	2	4	前		
	ベンチャービジネスと企業論	講	2	4	前		
	メディア中国語	講	2	4	後		
	北海道の地域と文化	講	2	3	前		
	時事英語	講	2	3	前		
	時事中国語	講	2	3	後		
	国際政治経済学	講	2	4	前		
	地方自治体論	講	2	3	後		
	国際関係論	講	2	3	前		
	国際協力論	講	2	3	後		
	公務員受験講座Ⅰ	講	2	3	前		
	公務員受験講座Ⅱ	講	2	3	後		
	ビジネスコミュニケーションⅠ	講	2	3	前		
	ビジネスコミュニケーションⅡ	講	2	3	後		
	ファイナンシャル・プランニング講座	講	2	3	前		
	総合言語実践Ⅰ	講	2	-	-		
	総合言語実践Ⅱ	講	2	-	-		
	総合言語実践Ⅲ	講	2	-	-		
	総合言語実践Ⅳ	講	2	-	-		
国際言語研修Ⅰ	講	2	-	-			
国際言語研修Ⅱ	講	2	-	-			
国際言語研修Ⅲ	講	2	-	-			
国際言語研修Ⅳ	講	2	-	-			
	卒業研究ゼミ	講	4	4	通年		

別表第2 授業科目およびその配当年次・単位数 (人間科学部)

ア 健康栄養学科

教養科目

分野	科目	区分	単位数	配当年次 及び学期		卒業 必修	資格区分		
							管理 栄養士	栄養士	食品衛生管理者 及び食品衛生監視員
人間と文化	心理学概論	講	2	1	前				
	食生活論	講	2	1	前				
	人間と住居	講	2	3	前				
	文章表現	講	2	1	前				
	総合教養講座	講	2	1	前	必修			
社会と制度	現代社会とキャリアプラン	講	2	3	後				
	日本国憲法	講	2	1	前				
	現代社会と福祉	講	2	1	後				
自然と科学	生命科学	講	2	1	前				
	物理学	講	2	1	前				
	基礎化学	講	2	1	前			必修	
	統計の基礎	講	2	2	後				
	情報処理 I	演	1	1	前				
情報処理 II	演	1	1	後					
外国語	英語 I	演	1	1	前				
	英語 II	演	1	1	後				
	英語 III	演	1	2	前				
	中国語 I	演	1	1	前				
	中国語 II	演	1	1	後				
	ロシア語 I	演	1	1	前				
	ロシア語 II	演	1	1	後				
スポーツと健康	生涯スポーツ I	演	1	1	前				
	生涯スポーツ II	演	1	1	後				
総合領域	海外・研修 I	演	1	-	-				
	海外・研修 II	演	1	-	-				
	海外・研修 III	演	2	-	-				
	海外・研修 IV	演	2	-	-				

専門基礎科目

分野	科目	区分	単位数	配当年次 及び学期		卒業 必修	資格区分		
							管理 栄養士	栄養士	食品衛生 管理者 及び 食品衛生 監視員
社会・環境と健康	公衆衛生学	講	2	2	後	必修	必修	必修	選択A
	健康社会と福祉	講	2	1	前	必修	必修	必修	
	健康体力の科学	講	2	4	前		必修		
	健康体力科学実習	実	1	4	後		必修		
	環境と化学	講	2	2	前				選択A
	統計と社会調査法	講	2	2	後				必修
人体の構造と機能及び 疾病の成り立ち	解剖学	講	2	1	前	必修	必修	必修	選択B
	生理学	講	2	1	後	必修	必修	必修	選択A
	運動生理学	講	2	1	前	必修	必修	必修	選択A
	細胞生物学	講	2	1	後		必修		
	生化学Ⅰ	講	2	2	前		必修		必修
	生化学Ⅱ	講	2	2	後	必修	必修	必修	選択A
	免疫学	講	1	1	前		必修		
	病原微生物学	講	1	1	後		必修		選択A
	病理学	講	2	2	前	必修	必修	必修	選択B
	臨床医学概論	講	2	2	後		必修		選択B
	解剖生理学実験	実	1	2	前	必修	必修	必修	選択B
	運動生理学実験	実	1	3	後		必修		
	生化学実験	実	1	2	後	必修	必修	必修	選択A
食べ物と健康	食べ物の成り立ち	講	2	1	後	必修		必修	必修
	食品科学	講	2	2	前	必修	必修	必修	選択A
	食品加工学	講	2	2	前		必修		選択A
	食品衛生学	講	2	2	後	必修	必修	必修	必修
	調理科学	講	2	1	前	必修	必修	必修	
	食品機能論	講	2	3	前				
	食品科学実験	実	1	1	後	必修	必修	必修	選択A
	食品加工学実験	実	1	2	後		必修		選択A
	基礎調理実習	実	1	1	後	必修	必修	必修	
	調理科学実験	実	1	1	前	必修	必修	必修	
	調理科学実習	実	1	2	前	必修	必修	必修	
	食品衛生学実験	実	1	3	前	必修	必修	必修	必修
	生物工学	講	2	3	前				選択B

専門科目

分野	科目	区分	単位数	配当年次 及び学期		卒業 必修	資格区分		
							管理 栄養士	栄養士	食品衛生 管理者 及び 食品衛生 監視員
基礎栄養学	基礎栄養学	講	2	1	後	必修	必修	必修	選択B
	栄養と代謝	講	2	3	後	必修			必修
	栄養学実験	実	1	2	前		必修		選択B
応用栄養学	応用栄養学	講	2	2	後	必修	必修	必修	選択B
	ライフステージ栄養学Ⅰ	講	2	2	後		必修		選択B
	ライフステージ栄養学Ⅱ	講	2	3	前		必修		選択B
	健康スポーツ栄養学	講	2	4	後				
	応用栄養学実習	実	1	3	前	必修	必修	必修	
栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	講	2	1	後	必修	必修	必修	
	栄養教育論実習	実	1	2	後	必修	必修	必修	
	栄養教育論Ⅱ	講	2	3	前	必修	必修	必修	
	食行動論	演	1	2	前		必修		
	栄養教育演習	演	1	4	後		必修		
	栄養教育論総論	講	2	3	前				
	栄養教育論各論	講	2	3	後				
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	講	2	2	後	必修	必修	必修	選択B
	臨床栄養学Ⅱ	講	2	3	前		必修		
	食事療法論	講	2	2	後	必修	必修	必修	
	栄養療法演習	演	1	3	前		必修		
	栄養療法実習	実	1	3	後	必修	必修	必修	
	栄養アセスメント演習	演	1	3	後	必修	必修	必修	
公衆栄養学	公衆栄養学	講	2	3	前	必修	必修	必修	選択A
	地域栄養活動論	講	2	3	後		必修		
	公衆栄養学実習	実	1	4	前		必修		
給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	講	2	2	前	必修	必修	必修	選択B
	給食経営管理論Ⅱ	講	1	2	後		必修		
	給食経営管理論Ⅲ	演	1	3	前		必修		
	給食経営管理実習Ⅰ	実	2	2	後	必修	必修	必修	
	給食経営管理実習Ⅱ	実	1	3	前	必修	必修	必修	
総合演習	管理栄養士活動演習Ⅰ	演	1	3	前		必修		
	管理栄養士活動演習Ⅱ	演	1	4	前		必修		
	管理栄養士演習Ⅰ	演	1	3	後		必修		
	管理栄養士演習Ⅱ	演	1	4	前		必修		
	管理栄養士演習Ⅲ	演	1	4	後		必修		
臨地実習	臨地実習Ⅰ	実	2	3	前		必修	必修	
	臨地実習Ⅱ	実	2	4	前		選必		
	臨地実習Ⅲ	実	1	4	前		選必		
	臨地実習Ⅳ	実	1	4	前		選必		
総合	卒業研究	演	4	4	前・後				

食品衛生管理者関係科目の履修方法

- 1) 必修科目7科目13単位を履修する。
- 2) 選択科目A12科目20単位のうちから11単位以上を履修する。
- 3) 上記1)及び2)に掲げる履修科目を含めて、履修科目の合計が40単位以上になるように選択科目Bの科目を履修する。

イ 理学療法学科

教養科目

分野	科目	区分	単位	配当年次 及び学期		卒業 必修	備考
人間と文化	文章表現	講	2	1	前		
	心理学概論	講	2	1	前		
	食生活論	講	2	2	前		
	人間と住居	講	2	2	前		
	総合教養講座	講	2	1	前	必修	
社会と制度	日本国憲法	講	2	1	前		
	現代社会と福祉	講	2	1	後		
	現代社会とキャリアプラン	講	2	3	後		
自然と科学	生命科学	講	2	1	前		
	情報処理 I	演	1	1	前		
	情報処理 II	演	1	1	後		
	統計の基礎	講	2	1	後		
	物理学	講	2	1	前		
	基礎化学	講	2	2	前		
外国語	英語 I	演	1	1	前		
	英語 II	演	1	1	後		
	英語 III	演	1	2	前		
	中国語 I	演	1	1	前		
	中国語 II	演	1	1	後		
	ロシア語 I	演	1	1	前		
	ロシア語 II	演	1	1	後		
スポーツと健康	生涯スポーツ I	演	1	1	前		
	生涯スポーツ II	演	1	1	後		
総合領域	海外・研修 I	演	1	-	-		
	海外・研修 II	演	2	-	-		
	海外・研修 III	演	1	-	-		
	海外・研修 IV	演	2	-	-		

専門基礎科目

分野	科目	区分	単位	配当年次 及び学期		卒業 必修	備考
人体の構造と機能及び 心身の発達	人間発達学	講	2	1	前	必修	
	解剖学Ⅰ	講	2	1	前	必修	
	解剖学Ⅱ	演	1	1	後	必修	
	生理学Ⅰ	講	2	1	後	必修	
	生理学Ⅱ	講	1	2	前	必修	
	解剖学実習	実	2	2	前	必修	
	生理学実習	実	1	2	前	必修	
	運動学Ⅰ	講	2	1	後	必修	
	運動学Ⅱ	講	2	2	前	必修	
	運動学実習	実	1	2	後	必修	
	リハビリテーション工学	講	1	1	後	必修	
疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	病理学	講	2	2	後	必修	
	内科学	講	2	2	前	必修	
	整形外科学	講	2	2	後	必修	
	神経内科学	講	2	2	後	必修	
	小児科学	講	1	2	前	必修	
	精神医学Ⅰ	講	2	1	後	必修	
	精神医学Ⅱ	講	2	2	前		
	リハビリテーション医学	講	1	1	後	必修	
	老年医学	講	1	2	後	必修	
	臨床心理学	講	1	2	後	必修	
	臨床栄養学	講	1	2	前		
	薬理学	講	1	3	後		
	救急医学	講	1	3	後	必修	
言語障害治療学	講	1	2	後	必修		
保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	医学概論	講	1	1	前	必修	
	リハビリテーション概論	講	1	1	前	必修	
	公衆衛生学	講	1	1	前		
	統計と社会調査法	講	2	3	後	必修	
	チーム医療概論	講	1	3	後	必修	

専門科目

分野	科目	区分	単位	配当年次及び学期		卒業必修	備考
基礎理学療法学	理学療法概論	講	2	1	前	必修	
	理学療法管理学	講	1	3	後	必修	
	運動生理学	講	1	2	後	必修	
	病態運動学	講	1	2	後	必修	
	機能解剖学実習	実	1	1	後	必修	
	理学療法研究法	講	1	3	後	必修	
	理学療法研究セミナー	演	1	3	後	必修	
	理学療法研究 I	演	1	4	前	必修	
	理学療法研究 II	演	1	4	後	必修	
	医療統計学	講	1	3	前	必修	
理学療法評価学	理学療法評価学	講	2	1	後	必修	
	理学療法評価学実習 I	実	1	2	前	必修	
	理学療法評価学実習 II	実	1	2	後	必修	
	高次脳機能障害学	講	1	3	前	必修	
理学療法治療学	物理療法学	講	2	2	後	必修	
	物理療法学実習	実	1	3	前	必修	
	基礎運動療法学	講	1	2	後	必修	
	義肢装具学	講	2	3	前	必修	
	義肢装具学実習	実	1	3	後	必修	
	運動器障害理学療法学	講	2	3	前	必修	
	運動器障害理学療法学実習	実	1	3	前	必修	
	神経障害理学療法学	講	2	3	後	必修	
	神経障害理学療法学実習	実	1	3	後	必修	
	内部障害理学療法学	講	2	3	前	必修	
	内部障害理学療法学実習	実	1	3	前	必修	
	発達障害理学療法学	講	2	3	後	必修	
	発達障害理学療法学実習	実	1	3	後	必修	
	日常生活活動学	講	1	3	前	必修	
	日常生活活動学実習	実	1	3	前	必修	
	理学療法総合セミナー	演	1	4	後	必修	
	理学療法技術セミナー I	演	1	3	後	必修	
理学療法技術セミナー II	演	1	3	後			
理学療法技術セミナー III	演	1	4	後			
地域理学療法学	生活環境学	講	1	2	前	必修	
	高齢者理学療法学	講	1	3	前	必修	
	地域理学療法学	講	1	3	前	必修	
	地域理学療法学演習	演	1	3	後	必修	
臨床実習	見学実習	実	1	1	後	必修	
	評価実習 I	実	2	2	後	必修	
	評価実習 II	実	3	3	後	必修	
	総合臨床実習 I	実	6	4	前	必修	
	総合臨床実習 II	実	6	4	前	必修	

ウ 作業療法学科

教養科目

分野	科目	区分	単位	配当年次 及び学期		卒業 必修	備考
人間と文化	文章表現	講	2	1	前		
	心理学概論	講	2	1	前		
	食生活論	講	2	1	前		
	人間と住居	講	2	1	前		
	総合教養講座	講	2	1	前	必修	
社会と制度	日本国憲法	講	2	1	前		
	現代社会と福祉	講	2	1	後		
	現代社会とキャリアプラン	講	2	2	後		
自然と環境	生命科学	講	2	1	前		
	情報処理 I	演	1	1	前		
	情報処理 II	演	1	1	後		
	統計の基礎	講	2	1	後		
	物理学	講	2	1	前		
	基礎化学	講	2	1	前		
外国語	英語 I	演	1	1	前		
	英語 II	演	1	1	後		
	英語 III	演	1	2	前		
	中国語 I	演	1	1	前		
	中国語 II	演	1	1	後		
	ロシア語 I	演	1	1	前		
	ロシア語 II	演	1	1	後		
	生涯スポーツ I	演	1	1	前		
生涯スポーツ II	演	1	1	後			
総合領域	海外・研修 I	演	1	-	-		
	海外・研修 II	演	2	-	-		
	海外・研修 III	演	1	-	-		
	海外・研修 IV	演	2	-	-		

専門基礎科目

分野	科目	区分	単位	配当年次 及び学期		卒業 必修	備考
人体の構造と機能及び 心身の発達	人間発達学	講	2	1	前	必修	
	解剖学Ⅰ	講	2	1	前	必修	
	解剖学Ⅱ	演	1	1	後	必修	
	解剖学Ⅲ	講	1	3	前	必修	
	生理学Ⅰ	講	2	1	後	必修	
	生理学Ⅱ	講	1	2	前	必修	
	解剖学実習	実	1	2	前	必修	
	生理学実習	実	1	2	前	必修	
	運動学Ⅰ	講	2	1	後	必修	
	運動学Ⅱ	講	2	2	前	必修	
	運動学実習	実	1	2	後	必修	
	リハビリテーション工学	講	1	1	後	必修	
疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	病理学	講	2	2	後	必修	
	内科学	講	2	2	前	必修	
	整形外科学	講	2	2	後	必修	
	神経内科学	講	2	2	後	必修	
	小児科学	講	1	2	前	必修	
	精神医学Ⅰ	講	2	1	後	必修	
	精神医学Ⅱ	講	2	2	前	必修	
	リハビリテーション医学	講	1	1	後	必修	
	老年医学	講	1	2	後	必修	
	臨床心理学	講	1	2	後		
	臨床栄養学	講	1	2	前		
	薬理学	講	1	3	後	必修	
	救急医学	講	1	3	後	必修	
	言語障害治療学	講	1	2	後	必修	
保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	医学概論	講	1	1	前	必修	
	リハビリテーション概論	講	1	1	前	必修	
	公衆衛生学	講	1	1	前		
	統計と社会調査法	講	2	2	後		
	チーム医療概論	講	1	3	後	必修	

専門科目

分野	科目	区分	単位	配当年次 及び学期		卒業 必修	備考
基礎作業療法学	作業療法概論Ⅰ	演	1	1	前	必修	
	作業療法概論Ⅱ	演	1	1	後	必修	
	基礎作業学Ⅰ	講	1	1	後	必修	
	基礎作業学Ⅱ	講	1	2	前	必修	
	基礎作業学実習Ⅰ	実	1	2	後	必修	
	基礎作業学実習Ⅱ	実	1	3	前	必修	
	作業療法研究法	演	1	3	前	必修	
	作業療法研究Ⅰ	演	1	3	後	必修	
	作業療法研究Ⅱ	演	1	4	前	必修	
作業療法評価学	作業療法評価学Ⅰ	講	1	2	前	必修	
	作業療法評価学Ⅱ	講	1	2	前	必修	
	作業療法評価学演習	演	1	2	前	必修	
	作業療法評価学実習Ⅰ	実	1	2	後	必修	
	作業療法評価学実習Ⅱ	実	1	3	前	必修	
作業治療学	身体障害作業療法治療学Ⅰ	講	1	2	前	必修	
	身体障害作業療法治療学Ⅱ	講	1	2	後	必修	
	身体障害作業療法治療学Ⅲ	講	1	2	後	必修	
	身体障害作業療法治療学演習	演	1	3	前	必修	
	身体障害作業療法治療学特論	講	1	3	前		
	身体障害作業療法治療学実習	実	1	3	後	必修	
	高次脳神経障害作業療法治療学	講	2	2	後	必修	
	高次脳神経障害作業療法治療学演習	演	1	3	前	必修	
	発達障害作業療法治療学	講	2	2	後	必修	
	発達障害作業療法治療学演習	演	1	3	前	必修	
	高齢期作業療法治療学	講	2	2	後	必修	
	高齢期作業療法治療学演習	演	1	3	前	必修	
	高齢期作業療法治療学特論	講	1	3	後		
	医療心理学	講	1	2	後	必修	
	精神障害作業療法治療学	講	2	2	前	必修	
	精神障害作業療法治療学演習	演	1	2	後	必修	
	精神障害作業療法治療学特論	講	1	3	前		
	臨床運動学	講	1	3	後	必修	
	日常生活適応学演習	演	1	3	後	必修	
	作業療法管理運営・法規	講	1	3	後	必修	
	作業療法理論	講	1	2	前	必修	
	作業療法総合セミナーⅠ	演	1	4	後	必修	
	作業療法総合セミナーⅡ	演	1	4	後	必修	
地域作業療法学	地域作業療法学	講	1	2	前	必修	
	地域作業療法学実習	実	1	2	後	必修	
	地域作業療法学演習	演	1	3	前	必修	
	産業作業療法学	講	1	3	前	必修	
臨床実習	見学実習	実	1	1	後	必修	
	評価実習	実	3	3	後	必修	
	総合臨床実習Ⅰ	実	8	4	前	必修	
	総合臨床実習Ⅱ	実	8	4	後	必修	

エ 看護学科

教養科目

分野	科目	区分	単位数	配当年次 及び学期		卒業 必修	備考
人間と文化	心理学概論	講	2	1	前		
	文章表現	講	2	1	前		
	総合教養講座	講	2	1	前	必修	
	人間と住居	講	2	1	前		
	食生活論	講	2	1	前		
社会と制度	現代社会と福祉	講	2	1	後		
	現代社会とキャリアプラン	講	2	3	後		
	日本国憲法	講	2	1	前		
自然と科学	生命科学	講	2	1	前		
	物理学	講	2	1	前		
	基礎化学	講	2	1	前		
	情報処理Ⅰ	演	1	1	前		
	情報処理Ⅱ	演	1	1	後		
	統計の基礎	講	2	1	後		
外国語	中国語Ⅰ	演	1	1	前		
	中国語Ⅱ	演	1	1	後		
	ロシア語Ⅰ	演	1	1	前		
	ロシア語Ⅱ	演	1	1	後		
	英語Ⅰ	演	1	1	前		
	英語Ⅱ	演	1	1	後		
	英語Ⅲ	演	1	2	前		
スポーツと健康	生涯スポーツⅠ	演	1	1	前		
	生涯スポーツⅡ	演	1	1	後		
総合領域	海外・研修Ⅰ	演	1	-	-		
	海外・研修Ⅱ	演	2	-	-		
	海外・研修Ⅲ	演	1	-	-		
	海外・研修Ⅳ	演	2	-	-		

専門基礎科目

分野	科目	区分	単位数	配当年次 及び学期		卒業 必修	備考
人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	講	2	1	前	必修	
	解剖学Ⅱ	講	2	1	後	必修	
	生理学Ⅰ	講	2	1	前	必修	
	生理学Ⅱ	講	2	1	後	必修	
	臨床栄養学	講	1	1	後	必修	
	免疫学	演	1	2	後	必修	
	食事療法	演	1	2	後	必修	
疾病の成り立ちと回復 の促進	臨床心理学	演	1	1	後	必修	
	病理学	講	2	2	前	必修	
	病態・治療学Ⅰ	講	2	2	前	必修	
	病態・治療学Ⅱ	講	2	2	前	必修	
	病態・治療学Ⅲ	講	2	2	後	必修	
	薬理学	講	2	2	前	必修	
	臨床薬理学	講	2	3	前	必修	
	臨床検査概論	講	1	2	前	必修	
カウンセリング技法	演	1	2	後	必修		
健康支援と社会保障制度	保健・医療概論	講	1	1	前	必修	
	社会保障・福祉論	演	1	1	後	必修	
	関係法規	講	2	1	後	必修	
	生涯発達論	講	2	1	後	必修	
	健康医療システム	講	1	1	前	必修	
	公衆衛生看護学概論	講	1	2	前	必修	
	保健医療福祉行政論	講	1	2	後	必修	
	チーム医療概論	講	1	2	後	必修	
	医療英語	講	1	2	前	必修	

専門科目

分野	科目	区分	単位数	配当年次 及び学期		卒業 必修	備考
基礎看護学	看護学概論	講	2	1	前	必修	
	コミュニケーション論Ⅰ	講	1	1	前	必修	
	コミュニケーション論Ⅱ	講	1	1	後	必修	
	看護ヘルスアセスメント	演	1	1	後	必修	
	基礎看護技術Ⅰ	演	1	1	前	必修	
	基礎看護技術Ⅱ-1	講	1	1	後	必修	
	基礎看護技術Ⅱ-2	演	1	1	後	必修	
	基礎看護技術Ⅲ-1	講	1	2	前	必修	
	基礎看護技術Ⅲ-2	演	1	2	前	必修	
	基礎看護技術Ⅳ	演	1	2	後	必修	
	看護過程論	演	1	2	前	必修	
	看護倫理	講	1	3	前	必修	
	看護教育学	講	1	4	後		
	看護診断学	講	1	4	後	必修	
看護理論	演	1	1	後	必修		
成人看護学	成人看護学概論	講	2	1	後	必修	
	成人看護学援助論Ⅰ	演	1	2	前	必修	
	成人看護学援助論Ⅱ	演	1	2	後	必修	
	成人看護学援助論Ⅲ	演	1	2	後	必修	
	成人看護学援助論Ⅳ	演	1	3	前	必修	
	成人看護学援助論Ⅴ	演	1	3	前	必修	
緩和ケア	講	1	4	前			
老年看護学	老年看護学概論Ⅰ	講	2	2	前	必修	
	老年看護学概論Ⅱ	講	1	2	前	必修	
	老年看護学援助論Ⅰ	演	1	2	後	必修	
	老年看護学援助論Ⅱ	演	1	3	前	必修	
小児看護学	小児看護学概論	講	2	2	前	必修	
	小児看護学援助論Ⅰ	演	1	2	後	必修	
	小児看護学援助論Ⅱ	演	1	3	前	必修	
	小児看護学健康障害論	演	1	2	前	必修	
母性看護学	母性看護学概論	講	1	2	前	必修	
	周産期健康障害論	講	2	2	前	必修	
	母性看護学援助論Ⅰ	演	1	2	後	必修	
	母性看護学援助論Ⅱ	演	1	3	前	必修	
	母性看護学援助論Ⅲ	演	1	3	前	必修	
精神看護学	精神看護学概論	講	2	2	前	必修	
	精神看護学健康障害論	講	2	2	前	必修	
	精神看護学援助論Ⅰ	演	1	2	後	必修	
	精神看護学援助論Ⅱ	演	1	3	前	必修	
在宅看護論	在宅看護概論	講	1	1	後	必修	
	在宅看護・介護システム論	講	1	2	前	必修	
	在宅看護援助論Ⅰ	演	1	2	後	必修	
	在宅看護援助論Ⅱ	演	1	3	前	必修	
	家族看護学	演	1	2	後	必修	
看護の統合と実践	看護研究Ⅰ	演	1	3	前	必修	
	看護研究Ⅱ	演	2	4	前・後	必修	
	看護学総合講座Ⅰ	演	1	2	前		
	看護学総合講座Ⅱ	演	1	3	後		
	看護学総合講座Ⅲ	演	1	4	前		
	看護学総合講座Ⅳ	演	1	4	後		
	看護マネジメント論	演	1	4	後	必修	
	国際看護学	講	1	4	後	必修	
臨地実習	災害看護学	講	1	4	後	必修	
	基礎看護学実習Ⅰ	実	1	1	前	必修	
	基礎看護学実習Ⅱ	実	2	2	後	必修	
	成人看護学実習Ⅰ	実	3	3	後	必修	
	成人看護学実習Ⅱ	実	3	3	後	必修	
	老年看護学実習	実	4	4	前	必修	
	小児看護学実習	実	2	3	後	必修	
	母性看護学実習	実	2	3	後	必修	
	精神看護学実習	実	2	4	前	必修	
	在宅看護論実習	実	2	4	前	必修	
継続統合看護学実習	実	2	4	前	必修		

オ こども発達学科

教養科目

分野	科目	区分	単位数	配当年次 及び学期		卒業 必修	資格区分			
							保育士	幼稚園 教諭	小学校 教諭	特別 支援 学校 教諭
人間と文化	心理学概論	講	2	3	前					
	倫理学	講	2	3	後					
	食生活論	講	2	3	前					
社会と制度	日本国憲法	講	2	3	後	必修	必	必	必	
	現代生活と福祉	講	2	3	前					
	現代社会論	講	2	1	後					
自然と科学	生命科学	講	2	2	前					
	物理学	講	2	4	前					
	環境と化学	講	2	4	後					
外国語	英語コミュニケーションⅠ	演	1	1	前	必修	必	必	必	
	英語コミュニケーションⅡ	演	1	1	後	必修	必	必	必	
	中国語Ⅰ	演	1	2	前					
	中国語Ⅱ	演	1	2	後					
	ロシア語Ⅰ	演	1	3	前					
	ロシア語Ⅱ	演	1	3	後					
スポーツと健康	生涯スポーツⅠ	演	1	1	前	必修	必	必	必	
	生涯スポーツⅡ	実	1	1	後	必修	必	必	必	
総合領域	北国の生活と健康	講	2	3	前					
	異文化間コミュニケーション論	講	2	2	後					
	コンピュータリテラシー	演	1	1	前	必修	必	必	必	
	プレゼンテーション技術	演	1	1	後	必修	必	必	必	

専門基礎科目

分野	科目	区分	単位数	配当年次 及び学期		卒業 必修	資格区分			
							保育士	幼稚園 教諭	小学校 教諭	特別 支援 学校 教諭
学びの理解	基礎ゼミナールⅠ	演	1	1	前	必修				
	基礎ゼミナールⅡ	演	1	1	後	必修				
	基礎ゼミナールⅢ	演	1	2	前					
	こども学原論	講	2	1	前	必修	選必A			
	基礎音楽	講	2	1	前		選必A			
教育と保育の理解	保育方法の研究	講	2	2	前	必修	選必A	必		
	保育原理	講	2	1	前	必修	必	選必B	選必D	
	保育者論	講	2	1	後	必修	必	選必B	選必D	
	こどもの心理学Ⅰ	講	2	1	後	必修	必	選必B	選必D	
	こどもの心理学Ⅱ	演	1	2	後	必修	必	選必B	選必D	
	教職原論	講	2	1	前	必修		必	必	
	教育原理論	講	2	1	後	必修	必	必	必	
こども支援	社会福祉	講	2	2	前	必修	必			
	児童家庭福祉	講	2	2	後	必修	必			
	知的障がい者の心理・生理・病理	講	2	1	前	必修	選必A			必
	肢体不自由者の心理・生理・病理	講	2	1	後	必修	選必A			必
	病弱者の心理・生理・病理	講	2	1	前	必修	選必A			必
	視覚・聴覚障がい者の心理・生理・病理	講	1	1	後	必修	選必A			必
	障がい児保育Ⅰ	演	1	3	前	必修	必			
	障がい児保育Ⅱ	演	1	3	後	必修	必			
子育て支援	こどもの食育Ⅰ	演	1	2	前		選必A			
	こどもの食育Ⅱ	演	1	2	後		選必A			
	子育て支援ネットワーク論Ⅰ	演	1	3	前		選必A			
	子育て支援ネットワーク論Ⅱ	演	1	3	後		選必A			

専門科目

分野	科目	区分	単位数	配当年次 及び学期		卒業 必修	資格区分			
							保育士	幼稚園 教諭	小学校 教諭	特別支援 学校教諭
保育の理解	社会的養護	講	2	1	前		必			
	相談援助	演	1	2	前		必			
	保育相談支援	演	1	2	後		必			
対象の理解	乳幼児心理学	講	2	1	後		選必A			
	青年心理学	講	2	2	前		選必A			
	こどもの保健Ⅰ-1	講	2	2	前		必			
	こどもの保健Ⅰ-2	講	2	2	後		必			
	こどもの保健Ⅱ	演	1	3	前		必			
	こどもの食と栄養Ⅰ	演	1	1	前		必			
	こどもの食と栄養Ⅱ	演	1	1	後		必			
家庭支援論	講	2	2	後		必				
保育方法の理解	保育課程論	講	2	1	後		必			
	保育内容総論	演	1	1	前		必	必		
	保育内容Ⅰ健康1	演	1	2	前		必	必		
	保育内容Ⅰ健康2	演	1	2	後		選必A	必		
	保育内容Ⅱ人間関係1	演	1	1	前		必	必		
	保育内容Ⅱ人間関係2	演	1	1	後		選必A	必		
	保育内容Ⅲ環境1	演	1	3	前		必	必		
	保育内容Ⅲ環境2	演	1	3	後		選必A	必		
	保育内容Ⅳ言葉1	演	1	1	前		必	必		
	保育内容Ⅳ言葉2	演	1	1	後		選必A	必		
	保育内容Ⅴ音楽リズム1	演	1	2	前		必	必		
	保育内容Ⅴ音楽リズム2	演	1	2	後		選必A	必		
	保育内容Ⅵ絵画制作1	演	1	1	前		選必A	必		
	保育内容Ⅵ絵画制作2	演	1	1	後		選必A	必		
	社会的養護内容	演	1	3	前		必			
乳児保育Ⅰ	演	1	3	前		必				
乳児保育Ⅱ	演	1	3	後		必				
表現方法の理解	表現Ⅰ幼児音楽1	演	1	1	前		必	必		
	表現Ⅰ幼児音楽2	演	1	1	後		選必A	必	選必E	
	表現Ⅱ造形1	演	1	2	前		必	必	必	
	表現Ⅱ造形2	演	1	2	後		選必A	必	必	
	表現Ⅲ身体表現1	演	1	3	前		必	必	必	
	表現Ⅲ身体表現2	演	1	3	後		選必A	必	必	
	表現Ⅳ日本語表現1	演	1	1	前		必			
	表現Ⅳ日本語表現2	演	1	1	後		選必A			
	総合表現音楽Ⅰ	演	1	3	前		選必A			選必E
総合表現音楽Ⅱ	演	1	3	後		選必A				
小学校・幼稚園 教科科目	国語科概論	講	2	1	前			必	必	
	社会科概論	講	2	1	前				必	
	理科概論	講	2	1	後				必	
	算数概論	講	2	1	後				必	
	生活科概論	講	2	2	前			必	必	
	家庭科教育概論	講	2	2	前			必	必	
小学校・幼稚園 教職科目	教育制度論	講	2	1	前			必	必	
	生涯教育論	講	2	3	後			選	選	
	教育課程概論	講	2	3	前			必	必	
	生徒指導の研究	講	2	4	前				必	
	幼児の理解	講	2	2	前		選必A	必		
	道德教育の研究	講	2	3	前				必	
	特別活動の研究	講	2	3	後				必	
	教育方法論	講	2	2	前			必	必	
	教育相談論Ⅰ	演	1	2	前			必	必	
	教育相談論Ⅱ	演	1	2	後			必	必	

分野	科目	区分	単位数	配当年次 及び学期		卒業必修	資格区分			
							保育士	幼稚園教諭	小学校教諭	特別支援学校教諭
小学校教職科目	教科教育国語	講	2	2	後			必		
	教科教育法社会	講	2	3	後			必		
	教科教育法算数	講	2	2	前			必		
	教科教育法理科	講	2	2	前			必		
	教科教育法生活	講	2	2	後			必		
	教科教育法音楽	講	2	2	後			必		
	教科教育法図画工作	講	2	3	前			必		
	教科教育法家庭	講	2	3	前			必		
	教科教育法体育	講	2	3	後			必		
外国語活動指導論	講	2	2	後			必			
特別支援専門科目	特別支援教育総論	講	2	2	後				必	
	知的障がい教育Ⅰ	講	2	2	前				必	
	知的障がい教育Ⅱ	講	2	2	後				必	
	肢体不自由児教育Ⅰ	講	2	2	前				必	
	肢体不自由児教育Ⅱ	講	2	2	後				必	
	病弱教育	講	2	4	前				必	
	視覚・聴覚障がい教育	講	1	3	前				必	
	重複障がい教育総論	講	2	4	後				必	
	発達障がい等教育総論	講	2	3	後				必	
学外・校外実習	小学校教育実習事前事後指導	演	1	3	後			選必C	選必F	
	小学校教育実習	実	4	4	前			選必C	選必F	
	特別支援教育実習講義	演	1	3	後				必	
	特別支援教育実習	実	2	4	前				必	
	幼稚園教育実習指導	実	1	3	前後			選必C	選必F	
	幼稚園教育実習	実	4	4	前			選必C	選必F	
	保育実習指導Ⅰ	演	2	2	前後		必			
	保育実習指導Ⅱ	演	1	3	前		必			
	保育実習指導Ⅲ	演	1	3	前		必			
	保育実習Ⅰ-1	実	2	2	後		必			
	保育実習Ⅰ-2	実	2	3	前		必			
	保育実習Ⅱ	実	2	3	後		選必A			
	保育実習Ⅲ	実	2	3	後					
総合科目	こども学総合演習Ⅰ	演	1	3	前	必修	必	必	必	
	こども学総合演習Ⅱ	演	1	3	後	必修	必	必	必	
	教職実践演習(幼・小)	演	2	4	後			必	必	
	音楽通論	講	2	4	前		選必A			
	こども発達支援論	講	2	2	後					
	こどもの発達と幼小連携	講	2	2	前					
	地域活動論	講	2	2	前					
	地域活動特論	演	1	3	前					
	ボランティア活動	演	1	2	後					
	国際協力論	講	2	3	後					
	人間関係論	講	2	4	後					
	生理学	講	2	4	前		選必A			
	公衆衛生学	講	2	2	前		選必A			
	救急医学	講	2	3	前		選必A			
	食べもの論	講	2	3	前		選必A			
	卒業研究Ⅰ	演	1	4	前					
	卒業研究Ⅱ	演	1	4	後					

資格区分上の選択必修科目(選必A~F)履修方法

選必A: 9単位以上(保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ 2単位、保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ 1単位を含む)、同B: 2単位以上、同C: 5単位以上、同D: 2単位以上、同E: 2単位以上、同F: 5単位以上を履修する。

別表第3 教育職員免許状所要資格取得のための教育科目

(1) 教職に関する科目

授業科目	単位数	配当年次及び学期		免許区分		
				中学校	高等学校	栄養教諭
教職原論	2	2	前	必修	必修	必修
教育原理論	2	1	後	必修	必修	必修
教育心理学	2	2	前	必修	必修	必修
青年心理学	2	1	後			-
教育制度論	2	3	前	必修	必修	-
生涯教育論	2	3	後			-
教育課程概論	2	2	後	必修	必修	必修
英語科教育法Ⅰ	2	2	後	該当教科必修	該当教科必修	-
英語科教育法Ⅱ	2	3	前			-
英語科教育法Ⅲ	2	3	後			-
英語科教育法Ⅳ	2	4	前			-
中国科教育法Ⅰ	2	2	前	該当教科必修	該当教科必修	-
中国科教育法Ⅱ	2	2	後			-
中国科教育法Ⅲ	2	3	前			-
中国科教育法Ⅳ	2	3	後			-
国語科教育法Ⅰ	2	2	後	該当教科必修	該当教科必修	-
国語科教育法Ⅱ	2	3	前			-
国語科教育法Ⅲ	2	3	後			-
国語科教育法Ⅳ	2	4	前			-
道德教育の研究	2	3	後	必修		-
特別活動の研究	2	3	前	必修	必修	必修
教育方法論	2	3	前	必修	必修	-
生徒指導の研究Ⅰ	2	3	前	必修	必修	必修
生徒指導の研究Ⅱ	2	3	後	必修	必修	必修
事前事後指導	1	3~4	後~	必修	必修	必修
中学校教育実習	4	4	前	必修	選択必修	-
高等学校教育実習	2	4	前			-
栄養教育実習	1	4	前	-	-	必修
教職実践演習(中・高)	2	4	後	必修	必修	
教職実践演習(栄養教諭)	2	4	後			必修

(2) 教科に関する科目

ア 英語

区分	授業科目	単位数	配当年次及び学期		免許区分	
			中学校	高等学校		
英語学	ことばのしくみ	2	2	前		
	コミュニケーション・イングリッシュIB(1)	2	2	前		
	コミュニケーション・イングリッシュII B(1)	2	2	後		
	ことばと社会	2	2	後		
	英語意味論	2	3	前		
	英語統語論	2	3	後	必修	必修
	日英対照言語学	2	3	前	必修	必修
	早期外国語教育論	2	3	前		
	音声学への招待	2	3	後	必修	必修
英米文学	英語の小説	2	3	前	必修	必修
	英語の詩	2	3	後	必修	必修
	英語の演劇	2	3	後	必修	必修
英語コミュニケーション	コミュニケーション・イングリッシュIA(1)	2	2	前	必修	必修
	コミュニケーション・イングリッシュIA(2)	2	2	前	必修	必修
	コミュニケーション・イングリッシュIB(2)	2	2	前	必修	必修
	コミュニケーション・イングリッシュII A(1)	2	2	後	必修	必修
	コミュニケーション・イングリッシュII A(2)	2	2	後	必修	必修
	コミュニケーション・イングリッシュII B(2)	2	2	後	必修	必修
	CAIイングリッシュ・マスターI	2	2	前	必修	必修
	CAIイングリッシュ・マスターII	2	2	後	必修	必修
	翻訳英語	2	4	後	選択必修A	選択必修A
通訳英語	2	4	前	選択必修A	選択必修A	
異文化理解	異文化間コミュニケーション論	2	1	後		
	英米の生活と文化	2	2	前	必修	必修
	日米文化比較	2	4	前	選択必修B	選択必修B
	現代英語圏のすがた	2	3	後	必修	必修
	英米の思想	2	4	後	選択必修B	選択必修B

選択必修(A、B)は、各々1科目を履修する。

イ 中国語

区分	授業科目	単位数	配当年次及び学期		免許区分	
			中学校	高等学校		
中国語学	ことばのしくみ	2	2	前		
	速修中級中国語I(1)	2	2	前	必修	必修
	速修中級中国語I(2)	2	2	前	必修	必修
	中級検定中国語I	2	2	前	選択必修A	選択必修A
	中級検定中国語II	2	2	後	選択必修A	選択必修A
	速修中級中国語II(1)	2	2	後	必修	必修
	速修中級中国語II(2)	2	2	後	必修	必修
	速修上級中国語I(1)	2	3	前		
	速修上級中国語I(2)	2	3	前		
	速修上級中国語II(1)	2	3	後		
	速修上級中国語II(2)	2	3	後		
	ことばと社会	2	2	後		
	上級検定中国語	2	3	前	選択必修A	選択必修A
	日中対照言語学	2	4	後		
	音声学への招待	2	3	後		
漢文を楽しむ	2	3	前			
中国文学	中国へのアプローチ	2	1	前	必修	必修
	中華圏の文学と芸術	2	4	前	必修	必修
中国語コミュニケーション	話す中国語I	2	2	前	必修	必修
	話す中国語II	2	2	後	必修	必修
	聴く中国語I	2	2	前	必修	必修
	聴く中国語II	2	2	後	必修	必修
	書く中国語I	2	2	前	選択必修B	選択必修B
	書く中国語II	2	2	後	選択必修B	選択必修B
	読む中国語I	2	2	前	選択必修C	選択必修C
	読む中国語II	2	2	後	選択必修C	選択必修C
	翻訳中国語	2	3	前	選択必修D	選択必修D
通訳中国語	2	3	後	選択必修D	選択必修D	
異文化理解	異文化間コミュニケーション論	2	1	後	必修	必修
	漢字のしくみ	2	1	後		
	日中文化比較	2	4	前		
	中華圏の社会と文化	2	4	後	必修	必修

選択必修(A～D)は、各々1科目を履修する。

ウ 国語

区分	授業科目	単位数	配当年次及び学期		免許区分	
					中学校	高等学校
国語学	ことばのしくみ	2	2	前		
	異文化間コミュニケーション論	2	1	後		
	日本語文章表現法演習Ⅰ	1	1	前	必修	必修
	日本語文章表現法演習Ⅱ	1	1	後	必修	必修
	日本語音声表現法演習Ⅰ	1	1	前	必修	必修
	日本語音声表現法演習Ⅱ	1	1	後	必修	必修
	日本語学演習Ⅰ	1	1	前	必修	必修
	日本語学演習Ⅱ	1	1	後	必修	必修
	現代日本語文法演習	1	1	前	必修	必修
	現代日本語論	2	2	前	必修	必修
	日本語コミュニケーション技法	2	2	前		
	世界の言語と日本語	2	2	後	必修	必修
	ことばと社会	2	2	後	必修	必修
	古典文法が拓く世界	2	2	前	必修	必修
	音韻から見える日本語の諸相	2	2	後	必修	必修
音声学への招待	2	3	後			
日本語の構造	2	3	後			
国文学	日本の文学作品を読む	2	2	後	必修	必修
	日本近現代文学史	2	2	前		
	近現代文献で読む日本文化	2	3	後		
	日本古典文学史	2	3	前		
	日本の信仰と生活	2	3	前		
漢文学	漢文を楽しむ	2	3	前	必修	必修
書道	書道・書道史Ⅰ	2	3	前	必修	-
	書道・書道史Ⅱ	2	3	後	必修	-

エ 栄養教諭

授業科目	単位数	配当年次及び学期		備考
栄養教育論総論	2	3	前	必修
栄養教育論各論	2	3	後	必修

別表第4 学芸員資格取得のための科目

授業科目	単位数	配当年次及び学期		備考
生涯学習概論	2	2	前	必修
博物館概論	2	1	後	必修
博物館経営論	2	2	後	必修
博物館資料論	2	2	前	必修
博物館資料保存論	2	2	後	必修
博物館展示論	2	2	後	必修
博物館教育論	2	1	後	必修
博物館情報・メディア論	2	2	前	必修
博物館実習	3	3	前	必修

別表第5 入学検定料及び学費

外国語学部

入学検定料	入学料	授業料	教育充実費
30,000円	200,000円	810,000円	150,000円

※ 授業料、教育充実費は毎年度納入する。

人間科学部 健康栄養学科

入学検定料	入学料	授業料	教育充実費	実験実習費
30,000円	200,000円	810,000円	200,000円	100,000円

※ 授業料、教育充実費、実験実習費は毎年度納入する。

人間科学部 理学療法学科・作業療法学科

入学検定料	入学料	授業料	教育充実費	実験実習費
30,000円	300,000円	800,000円	300,000円	200,000円

※ 授業料、教育充実費、実験実習費は毎年度納入する。

人間科学部 看護学科

入学検定料	入学料	授業料	教育充実費	実験実習費
30,000円	300,000円	1,000,000円	200,000円	300,000円

※ 授業料、教育充実費、実験実習費は毎年度納入する。

人間科学部 こども発達学科

入学検定料	入学料	授業料	教育充実費	実験実習費
30,000円	200,000円	800,000円	200,000円	50,000円

※ 授業料、教育充実費、実験実習費は毎年度納入する。